

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

中核地域生活支援センターとの連携（協働）

（社）千葉犯罪被害者支援センター
事務局長 加藤恵美子

千葉県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」に指定されており、警察からの情報提供（ご本人の了解の下）により事件発生直後から迅速に犯罪被害者、その家族及び遺族（以下、「被害者等」という。）の支援を行うとともに、関係機関との連携を密にし、被害者等が抱える多様なニーズに適切かつ継続的に対応し、被害者支援活動の更なる充実へ向けて努力しております。

また、県民の被害者等に対する理解の増進を図り、地域社会全体で被害者等に対して適切な配慮や支援がなされ、被害者等の尊厳が守られる社会づくりを目指し、積極的・継続的に広報啓発活動を行い、県民の支援意識の高揚を図るように心がけております。

以上が当支援センターの事業活動方針であり、その方針の下、事務局長以下職員14名で日々忙しく業務に当たっております。

そんな中で、昨年、中核地域生活支援センターと連携して被害者のご遺族の支援を致しました。

中核地域生活支援センターの存在はその時初めて知りました。そしてその動きの早さ、適切な対応に感激致しました。

地域のセーフティネットとして、大変期待をしており、頼りにしております。

犯罪被害者等の支援には、各関係機関との連携が何よりも大切です。

今後ますますのご理解とご協力をお願い致します。

お互い忙しい毎日ですが、心と体の健康には十分配慮し、支援を求めている方々のためにならばりましょう。



ちば・元気印！

～こんなひと、見つけた～



花崎みさを氏(児童養護施設「野の花の家」施設長)

木更津市にある児童養護施設「野の花の家」の施設長である花崎みさをさんは、アジア人女性の支援を積極的に展開しています。

「この分野に興味を持った一番最初は、ボランティア育成の仕事をしていく中で1969年に国際児童養護施設『ペスタロッチ子どもの村』に行く機会を得たこと。その中にある韓国ハウスで半年ほど勤務しました。そこでの体験を通じて、韓国の子どもたちが抱く反日感情を知りました。韓国の子ども達の反日感情は親世代の話だけど、そのような民族の話が親から子へ受け継がれている。これは、日本でもアジアに対する偏見が親から子どもに受け継がれるのと同じ事だと思いました。」

そのような体験を経て、花崎さんは「帰国したら、アジアの子と日本の子が共に住める家づくりをしよう。一緒に暮らせば、親の口から聞く偏見も解消されるに違いない」と考えるようになりました。

「しかし、当時の私は何もノウハウがなく、外務省などを訪ねてISS（日本国際社会事業団）をしりました。ISSは、国際養子縁組を進める機関です。当時は国における外国人の子どもの里親制度というものはなく、ISSから最初に10万円を受け取ったけれど、それ以外はどこからも援助がなく、しかも他の里親とうまくいかずにISSに戻ってきた子どもを5人も6人も頼まれました。」

1981年から始めたインドシナ難民児童の里親活動でしたが、ボランティアでは続けることができないと、重症心身障害児施設『秋津学園』の草野熊吉氏に相談したところ、「本気でやるなら応援する」と言われたことがきっかけで、1984年に花崎さんは『社会福祉法人一粒会』を設立、翌年に児童養護施設『野の花の家』を開設しました。

「アジアから日本へ出稼ぎに来て、日本人男性の子どもを身ごもる話を数多く聞き、平成3年に母子生活支援施設『FAH（フレンドシップアジアハウス）こすもす』を開設しました。こすもすで外国人からの電話相談を受けていましたが、長期間にわたるためこすもすの電話が使えなくなりました。そのような経緯で出来たのが、相談センターである児童家庭支援センター『ファミリーセンター・ヴィオラ』です。こすもすもヴィオラも相談のほとんどはDV被害者からのものです。」

児童養護施設「野の花の家」

事業所の所在地 ■ 〒292-0201 千葉県木更津市真里谷 1880-5

電話 ■ 0438-53-2787

付属施設 ■ 児童福祉施設母子生活支援施設「FAHこすもす」0438-53-5105

児童家庭支援センター「ファミリーセンターヴィオラ」0438-53-3453



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

[千葉県] **第2回千葉県障害者グループホーム大会**
「あなたと一緒に暮らしたい」～グループホームで出逢った僕らのこれから～
日時：11月2日（火）12時30分～16時30分（受付12時～）
場所：千葉市文化センター3階アートホール
参加費：無料
定員：500名（先着順で締め切らせていただきます）
申込締め切り：10月19日（火）
お問い合わせ：千葉県健康福祉部 障害福祉課 地域生活支援室（043-223-2335 担当：池宮城^{いけみやぎ}）

[千葉県] **第10回地域生活支援フォーラム千葉**
～千葉県の障害者福祉この10年を振り返ってこれからの展望する～
日時：11月20日（土）10時～16時30分（受付9時30分～）
場所：千葉県労働者福祉センター（千葉市中央区千葉港4-4）
参加費：2000円（資料代として、当日会場にていただきます）
定員：250名（先着順で締め切らせていただきます）
申込締め切り：11月1日（月）
お問い合わせ：中核地域生活支援センター海匠ネットワーク
（0479-60-2578 担当：英^{はなごさ}）



ご存知ですか？中核地域生活支援センター

《連絡調整会議》

○県と中核地域生活支援センターが共同で地域の事を考えます。

○中核地域生活支援活動の基礎となるのは、連絡調整会議です。

○この会議は、各圏域の健康福祉センター（保健所）が主催し、中核地域生活支援センターが主導的役割を果たします。

○参加者は、地域によって多少の変化はありますが、主に以下のようになっています。

1. 各市町村
2. 児童相談所など県機関
3. 各市町村の社会福祉協議会
4. 社会福祉法人など
5. NPO法人など
6. 地域で参加していただきたいところ

○この会議は、県と中核地域生活支援センターと一緒に、地域の各機関を交えて、地域のことを相談する機会となっています。このことによって、中核地域生活支援センターは、県と地域を繋ぐ役割をしています。

○連絡調整会議は、その下に以下の部会を設置しています。

1. 高齢者部会
2. 児童部会
3. 障害者部会



発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：すけっと（印旛圏域）佐倉市錦木仲田町9-3 TEL:043-483-3718 FAX:043-483-3719

編集：海匠ネットワーク（海匠圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

※内容についてのお問い合わせは、海匠ネットワーク（担当：^{くらた}藏田）までお願いします。